| 学校番号 | 404 |
|---|---|

# 令和5年度　　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅲ | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「音楽Ⅲ」（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「Music Navigation 」（教育出版） | | | | | | |

## 1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

楽器の演奏や歌唱の上達には時間と根気が必要です。また、自分の技能・表現方法に対して客観的に考える力が必要となります。「どんな演奏がしたいか」「どう表現したいか」など、演奏をするにあたって明確な目標を持って取り組む姿勢が大切です。

## 2. 学習の到達目標

音楽Ⅲでは、①器楽（打楽器・管楽器・弦楽器・鍵盤楽器）の独奏とアンサンブル②歌唱（日本歌曲・西洋歌曲・合唱）③鑑賞④創作を実施します。グループワーク（アンサンブル）では、個人の演奏能力を生かし、質の高い楽曲演奏ができることを目標にします。また、器楽の学習では、ピアノ演奏法の学習を行うため、各自練習が必要となります。

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：音楽への関心・意欲・態度 | b：音楽表現の創意工夫 | c：音楽表現の技能 | d：鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 | 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 |
| 評価方法 | ・取り組む姿勢<br>・プレゼンテーション<br>・鑑賞シート<br>・ワークシート | ・実技試験<br>・プレゼンテーション<br>・グループワーク | ・実技試験<br>・ワークシート<br>・プレゼンテーション | ・実技試験<br>・鑑賞シート<br>・取り組む姿勢<br>・ワークシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | ・オリエンテーション<br>・器楽アンサンブル①<br>・鑑賞<br>・歌唱<br>・ピアノ実技 | ・アンサンブル奏（三重奏）を行う。<br>・様々な国の楽曲の鑑賞を通して、より広い知識に基づき、他者を尊重する態度を育成する。<br>・西洋歌曲の歌唱や鑑賞を通じて、様々な表現法を学び、演奏する。<br>・ピアノ演奏の基礎を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。<br>b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。<br>c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。<br>d：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 実技試験<br>鑑賞シート<br>ワークシート |
| 2 | ・器楽アンサンブル②<br>・鑑賞<br>・歌唱<br>・ピアノ実技 | ・アンサンブル奏（四重奏）を学習する。<br>・様々な国の楽曲の鑑賞を通じて、より深い知識とともに、他者を尊重する態度を育成する。<br>・合唱曲を学習し、声によるアンサンブルを学ぶ。<br>・ピアノ演奏の基礎を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。<br>b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。<br>c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。<br>d：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 実技試験<br>鑑賞シート<br>ワークシート |
| 3 | ・器楽アンサンブル③<br>・鑑賞<br>・歌唱<br>・創作<br>・ピアノ実技 | ・アンサンブル（管・弦・打楽器）を学習する。<br>・鑑賞（3曲）を通じて、より深い知識とともに、自分と異なる意見を尊重することを学ぶ。<br>・創作活動の実施と記譜を学ぶ。<br>・ピアノ演奏の基礎を学ぶ。 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。<br>b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら歌唱・器楽・創作の様々な表現形態による特徴を生かして音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。<br>c:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・歌唱・器楽・創作の技術を身につけ、創造的に表している。<br>d：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 実技試験<br>鑑賞シート<br>ワークシート |

※ 表中の観点について　　a：音楽への関心・意欲・態度 b：音楽表現の創意工夫

c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。